

## ・平成22年度決算の概要

本年度の水道事業経営に当たっては、引き続き配水管等の耐震性の向上と漏水防止を図るため、老朽管等の更新を積極的に推進し、資源としての水の確保と水道水の安定供給に努めるとともに、効率的かつ効果的な事業の運営を図ることにより極力経費の削減に努め、一層の経営の安定化を目指しながら事業を執行しました。

また、施設整備事業については、高円万寺浄水場の受変電設備更新、石鳥谷地区黒森送水ポンプ場の非常用発電設備更新等を行いました。

### ・収益的収入及び支出（事業運営に関する決算）

平成22年度の決算は、8千4百万円ほどの純利益となりました。

記録的な猛暑の影響により前年度と比べ料金収入は増加しましたが、今後の水需要の縮小化、不景気等の影響により、団体や工業関係の大口需要が減少し、料金収入の増加が見込まれない中で、今後、減価償却費などの義務的経費の増加も見込まれるため、水道料金の適正化及び経営の健全化を図りながら、厳しい状況に対応して参ります。

### 収支の状況（損益計算）

収入		支出	
給水料金	1,832	人件費	207
その他	132	企業債利息	215
		減価償却費	613
		動力費	55
		修繕費	74
		委託料	160
		受水費	434
		その他	122
計	1,964	計	1880
純利益			84

(単位：百万円・税抜き)

### ・資本的収入及び支出（建設投資などに関する決算）

平成22年度の建設改良工事は、高円万寺浄水場等の施設整備や、老朽管更新事業、安全対策事業等配水管整備、鉛製給水管更新整備を昨年に引き続き行いました。これは、民間企業の設備投資にあたるもので、お客様に安定的に安全な水を供給するために地震などの災害や漏水事故に備え行うものです。

### 平成22年度に行なわれた主な建設改良工事

・高円万寺浄水場受変電設備更新工事	外	21,504万円
・配水管整備事業	(3,090.7m)	8,734万円
・老朽管更新事業	(3,089.8m)	17,362万円
・安全対策事業	(2,494.6m)	14,110万円
・鉛製給水管更新事業	(500.1m)	298万円

資本的収支決算

収入		支出	
企業債	564	建設改良費等	727
国庫補助金	48	企業債償還金	516
その他	60	その他	1
計	672	計	1,244

(単位：百万円・税込み)

※ 収入額が支出額に不足する額 572 百万円は、損益勘定留保資金等により補てんしました。

貸借対照表

1. 固定資産	19,181	4. 固定負債	0
2. 流動資産	2,110	5. 流動負債	169
3. 繰延勘定	0	負債合計	169
		6. 資本金	20,246
		7. 剰余金	876
		資本合計	21,122
資産合計	21,291	負債・資本合計	21,291

(単位：百万円・税抜き)

決算に関するお問い合わせは、業務管理課業務係まで。